



文理科学科通信

京都府立福知山高等学校

みらい学Ⅰ」第二弾取り組み始まる

みらい学Ⅰ」の第二弾 臨床心理学入門講座」の取り組みが始まりました。

第二弾の取り組みは、六月十三日(水)

の京都大学大学院教育学研究科教授の藤原勝紀先生による特別講義 『こころの働きと人間関係―臨床心理学への招待』です。その講義をしっかりと理解するために「心理学」についての事前学習を六月一日(金)におこないました。八つのグ



ループで次の五つの課題

ア 心理学の歴史

イ 臨床心理学とは

ウ 心の病気

エ 心の発達過程

オ 心の構造

を分担して調べ、「心理学」の基礎知識をしっかりと身につけてきました。

また、六月八日(金)には藤原勝紀先生の著書を読み「ひきこもりから自立を考える」をテーマにしてグループ内で討論をおこないます

生徒の声(二ヶ月の感想)

はじめは少し不安があったが、クラスにもだいが慣れ、「文理科学科」は自分にあった学科だと思います。

みらい学」も楽しいし、入学してとても良かった。さらにレベルを高められるようにしたい。

六人部中学校出身)

一番印象に残っているのは初めての「みらい学」の研究でした。それまであまり興味がなかった「農薬」や「食の安全」について調べて考えていく中で真剣に考えていかなければならないことだと感じました。そして、今まで知らなかったことも知ることができました。もっと色々な分野の講義を聞いてみたいと思っています。また、部活と勉強の両立を目指したいと思っています。

桃映中学校出身)

はじめは緊張していましたが慣れてきました。勉強はすごく大変。けれども力がついてきているのがよくわかります。これから楽しくはじめのある高校生活を送りたいです。

日新中学校出身)

思ったほど勉強オタクばかりではないということに驚きました。この二ヶ月間に新しい友達もたくさんでき、これからの高校生活に期待が持てました。何事にも高い目標を持って取り組んでいきたいです。そして楽しい高校生活を送りたいです。

成和中学校出身)

授業がすごく早くて勉強に必死でした。毎日、たくさん宿題は出るし、予習・復習をしっかりとしないと授業にはついていけませんでした。でも、最近高校生活にも慣れてきました。

また「みらい学Ⅰ」では大学でしか聞けないような講義をうけることができとても面白かったです。さまざまな分野を学んで、自分の進路を決めていきたいです。

東綾中学校出身)

授業の風景

文理科学科の「総合英語」の担当は青木朋子先生です。語学は毎日勉強することが大切。」英語がわかる楽しさを感じてほしい。」といつも思いながら指導されています。

生徒諸君の英語の成績は急上昇しています。

